

# ドリーム No. 709

発行日 2011年9月11日(日) 発行・文責 長坂 徳久

## 【と】

(9/1の授業より)

( )と( )

例

赤と白

えんぴつとけしごむ

ジャックと豆の木

長坂『〇〇と〇〇。たとえば、赤と白、えんぴつとけしごむ、ジャックと豆の木。思いつくものをできるだけたくさんノートに書きなさい。』

拳士「父と母」「未来と過去」たくさん出ました。

長坂『ほかにどうしても言いたい人?』

Tくん「トムとジェリー」(学童でDVDを観ることが多いから?)



『先生と同じのがありました。これです。』

「トムとジェリーや!」

トムとジェリー



『そう、トムとジェリーです。知っていることを発表してください。』

「仲よくケンカする」(次の発問の答えが出てしまう。(苦笑))

『そうだったっけ?』



トムとジェリー、

( )くけんかしな

『( )にはどんな言葉が入りますか?』

さきほどの、拳士の回答でみんなわかっていて、口々に言う。だから、こんなときは、

『はい、みんなで一斉に、トムとジェリー・・・』

「なかよく けんかしな!」



トムとジェリー、  
(なかよ)くけんかしな

『君たちはけんかしますか？』  
「する～」「今日もした!」  
『何人ぐらいの人とけんかしたことありますか？』

トムとジェリーは仲がいいか？



『トムとジェリーは仲がいいのですか？ いいと思う人？ 悪いと思う人？ それぞれ理由をノートに書きなさい。』

『発表します。仲がいいと思う人から。』  
「けんかするほど仲がいいというから。」  
「本当はなかよしだと思う。」

『仲が悪いと思う人。』  
「いつもケンカばかりしているから。」

なかよく、けんかする？？

『なかよく、けんかするってあるのだろうか？どんな意味か書いてみなさい。』  
「けんかはするけど、本気じゃない。」  
「けんかしてもすぐに仲直りする。」  
「楽しくけんかしている。」  
「本当は仲がいい。」

『人間だから、けんかすることもあるね。でも、相手を許してやることも大切だね。』  
『少林寺拳法は、けんかをするために習うのではありません。けんかをしなくなるために少林寺拳法を習います。強くなると人にやさしくしてやれます。けんかをとめることもできます。きみたちも友だちとけんかするときは、トムとジェリーのようになかよくけんかしてください。(笑)』

道場の中には、学校ではよくけんかするという者同士もいる。特に低学年などにはよくあるだろう。

この日体験入門者があったこともあり、

- ① 少林寺拳法はけんかに使いません。
  - ② 少林寺拳法の拳士はみんなと仲良くします。
  - ③ 先生は、そんなことを厳しく見えています。
- ということを教える(わからせておく)ためにこの授業を作った。



二分ほどトムとジェリーの動画を観た。